

2輪スポーツ走行クラス 「筑波ライセンス」のみ走行できるクラスです

Cクラス

1分08秒～
1分19秒999まで

* 走行基準タイムに満たない方は、走行に慣れるまでコース右側の白線に沿って走行してください。

【ナンバー付き車両】 (125 c c～400 c c)

※オイル受けアンダーカウル装着、ゼッケン等スポーツ走行クラスの車両規定に準ずる。

【競技車両】 (100 c c～400 c c)

・一般市販車両をベースにした競技車両(TC400/TC250、旧TC-mini仕様)

※ 4サイクル100 c c ベース競技車両(NSF100)

2サイクル80 c c (NSR80等)はこのクラスでの走行。

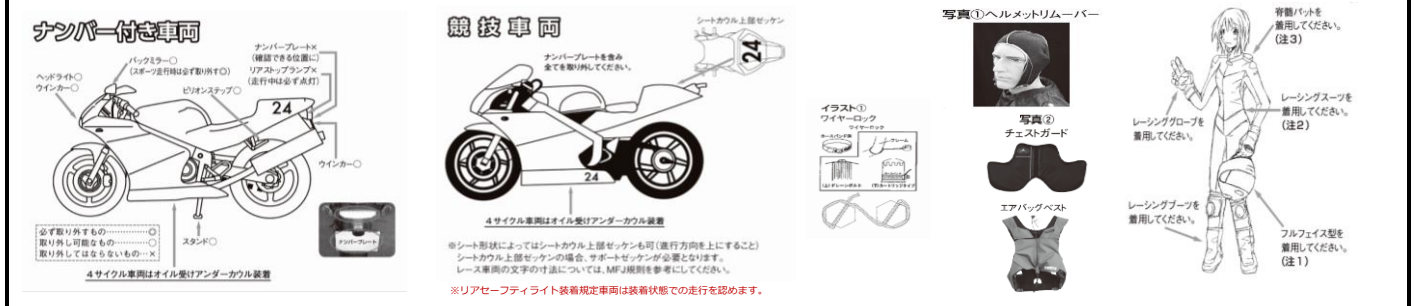
・旧型レーサー車両(1970～1980年代) 例：CB90

【走行できない車両】

・排気量が400 c c以上の車両およびレーサー車両 S80・J-G P3

・2サイクル50 c c ベース競技車両

・Bクラス認定者の認定車両での走行は、安全上の理由により禁止となります。



● 走行基準タイム

走行基準タイムは、平均的に走行できる1周あたりのタイムです。ベストラップではありませんのでご注意ください。

基準タイム内で走行できない場合は、他の車両に危険をおよぼすこともありオフィシャルの判断にて走行を中止させていただく場合もあります。

● 走行音量

走行中にナンバー付き車両100dB/競技(レース)車両110dBを超えた車両は走行を中止していただきます。

※自走でご来場の際は保安基準適合音量を超えないようご注意ください。

● ヘルメット(注1)

ヘルメットはフルフェイス型のみになります。※MFJ公認の物を強く推奨します。ジェット型・フリップアップ型・オフロード型は使用できません。一度転倒等で衝撃を受けたものや、外傷がなくても使用が2年以上過ぎたものは新しいヘルメットと交換してください。

【推奨】万が一の転倒時に迅速なレスキューならびに自己の安全のため、ヘルメットリムーバーの装着を推奨します。写真①

● レーシングスーツ(注2)

革製もしくは革製と同等素材のものを着用してください。

【推奨】MFJ公認スーツを推奨。

転倒による破れ等はメンテナンスを行ってください。※セパレートタイプ(ファスナー付きに限る)はMFJ公認に限ります。

● 脊椎パット(注3)

脊椎パットの装備がないレーシングスーツを着用される場合は、必ずインナー脊椎パットを着用してください。※レースは義務となっています。

● レーシンググローブ

レーシンググローブを着用してください。軍手や布製のグローブ及び肌が露出するようなグローブは禁止です。

● レーシングブーツ

レーシングブーツを着用してください。革製のロングシューズ等は禁止です。

● チェストガード・エアバッグベスト

【推奨】ライダーの身体を保護するチェストガード(胸部プロテクション)、エアバッグベストの使用を推奨。写真②

※MFJ(公認・承認)レースに参加される方は、ヘルメットリムーバー・チェストガード装着が義務となっています。

● オイル受けアンダーカウル

全ての4サイクル車両はオイル受けアンダーカウル装着が義務となります。未装着車両の走行はお断りします。

● ワイヤーロック (イラスト①)

エンジンのドレンボルト類は確実に固定され、ドリルで穴を開けワイヤーで所定の位置に固定してください。

オイルパンに進入する外部オイルフィルターのスクリューやボルト、ブレーキキャリパーボルト及びパッドピンのワイヤーロックを強く推奨します。

● 冷却水

冷却水は水(レース用として一般販売されている冷却水を含む)に限ります。

● リアスプロケットガード

身体の一部がチェーンとリアスプロケットに挟まれることを防ぎます。材質は金属、頑強なプラスチック、樹脂などを使用し、シャープエッジにならないようご注意ください。なお、スイングアーム(補強部分も含む)がリアスプロケットガードを兼ねることは認められます。

● ゼッケン

フロント1枚、リア左右1枚を確認しやすい位置に貼付してください。

文字の最低寸法：高さ120mm 幅80mm 太さ25mm 数字の間15mm

● ビブス

サーキット走行が初めての方や慣らし走行をされる方は、ビブスの着用をお願いいたします。ビブスは各コースのコントロールタワーにて貸し出しを行っております。

貸し出しの際にライセンスカードを忘れずにお持ち下さい。ビブスの色によって内容が異なります。 蛍光イエロー：初心者 蛍光ピンク：慣らし走行